



赤小だより

10月号
令和3年10月1日
北区立赤羽小学校

こんな「今」だからできること、読書の大切さ

校長 山口 宗彦

金木犀の芳しい香りに、秋の気配を感じられるようになりました。

今夏は自宅で過ごすことが多かったので、知人から勧められた本を何冊か読みました。

その中の1冊が、梨木香歩さんの『裏庭』です。この本は、1995年第1回児童文学ファンタジー大賞（絵本・児童文学研究センター主催）の受賞作です。

主人公の少女「照美（テルミ）」は、心に孤独を抱えており、行き場のない日々を過ごしています。高い塀で囲まれたその洋館の庭は、子供たちにとって絶好の遊び場でしたが、照美には苦すぎる思い出があり、久しく通っていませんでした。しかし、ある出来事がきっかけとなって、照美は洋館の秘密の「裏庭」へと入りこみ、異世界の冒険に旅立ちます。

子供向けのようで、大人が読んでも読み応えのあるファンタジー小説でした。情景描写は素晴らしく、家にいながら空想の世界にあつという間に引き込まれました。異世界の冒険で主人公はいろいろな出会いをし、現実世界での心の傷を見つめ直します。「傷を、大事に育てていくことじゃ。そこからしか、自分というものは生まれませんぞ」という異世界の住人の言葉に、心が洗われるようでした。「生と死」、「現世と冥界」、「前庭と裏庭」、「過去と未来」、「本当の心のつながり」、「今の自分ともう一人の自分」等を考えさせられる作品でした。

読書活動に関しては、以前より各所で様々な調査や研究が行われてきました。最近実施されたある教育研究所の調査では、読書は学習面にとどまらず、何かに夢中になる体験になったり、心理面での安定につながったりしているとの報告が挙げられています。

現在の社会状況では、何に対しても制限や課題が多いです。時に焦燥感を募り、時に猜疑心を抱き、価値観の相違や、言動と行動のちぐはぐさに息苦しさを伴うこともあります。

そんな時だからこそ、読書活動は必要になると考えます。先に述べた調査結果でも、「コロナ禍で体験を広げることが難しく、情緒面での不安定さも抱えやすい状況にあって、読書は子供の成長により重要な役割を果たしていくものと思われる」とまとめられています。

本は、作家の想いが込められた活字の世界です。文字情報をもとに想像を膨らませたり考えを構築したりすることは、創造力の鍛錬になります。読書で得られた力は、社会生活の中で、他人の気持ちを想像する力を高め、人間的・精神的な成長につながると言われています。赤羽小の子供たちにも読書の習慣、活字を読む習慣を身につけさせ、多くの作品に出会い、読書の素晴らしさを味わって欲しいです。

間もなく1学期を終え、2学期が始まります。新型コロナウイルスの感染防止対策の徹底につきましては、日頃から格段のご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。赤羽小は今後も感染防止に十分留意し、10月16日（土）には運動会を実施したいと考えております。詳細については近日中にご連絡いたします。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

10月の予定

4	月	A5	委員会(6時間目)	17	日		運動会予備日①
5	火	A6	運動会係活動(高学年、4年応援団)	19	火	A6	那須事前検診(特)13:00- 運動会予備日②
6	水	A4	運動会全体練習① 那須保護者説明会(特)	20	水	A4	那須宿泊学習(特)始 スクールコンサート(演劇鑑賞)
7	木	A6	運動会全体練習予備日 色覚検査(4年生)	21	木	A6	マーチング(6時間目) 那須宿泊学習(特)終
8	金	A5	終業式	22	金	A6	避難訓練
12	火	A6	始業式 運動会係活動(6時間目 高学年、4年応援団)	25	月	A5	なかよし活動(5時間目) クラブ(6時間目)
13	水	S5	運動会全体練習②	26	火	A5	
14	木	A6	運動会全体練習予備日 マーチング(6時間目)	27	水	A4	ハロウィン集会
15	金	A5	運動会リハーサル 運動会前日準備(5時間目 高学年、4年応援団)	28	木	A6	マーチング(6時間目)
16	土	A4	運動会 環境展パネル展示参加(4組)	29	金	A4	就学時健康診断
☆カウンセラー来校日☆ 中川SC ⇒ 7, 14, 21, 28日				篠村SC ⇒ 8, 15日			

写生会を終えて



今年度、1～3年生は9月22日（水）、4～6年生は21日（火）の2日間で写生会が行われました。

1年生は野菜・果物、2年生は遊具、3年生は校舎、4年生はマイグッズ（校帽・筆箱・水筒）、5年生は靴、6年生はランドセルを描きました。

一人一人が各学年のテーマと向き合い、モチーフを画用紙の中にどう表すかよく考え、真剣に取り組む姿が見られました。1・2年生はグラウンドに出て、目の前にあるモチーフをクレヨンを使って、元気いっぱい描くことができました。3～6年生は市販されている絵の具の色そのままに着色するのではなく、パレットにたくさんの色を出して混色し、実際に近い色になるように追究していました。

作品が完成したときには「できた！」とやりきった声が聞こえてきました。イメージで描くのではなく、目の前のモチーフをよく見て、細かいところまで集中して制作する姿がとても素敵でした。

【図工専科 小林 実央】

わたしは、しゃ生会で「大きく・上手に」のぼりぼうの絵をかくことをがんばりました。まわりの風けいをていねいにかくことに気をつけて、かいていきました。のぼりぼうのぼうがたくさんあったので、かいているところが分からなくなってしまったのが、むずかしかったです。しょうにえらばれたらうれしいです。

【2年1組 さとう ゆりな】

わたしは、しゃ生会ですべりだいをかきました。はじめる前は、上手にかけるかな、と思っていました。すべりだいのすべるところや色をぬるのがむずかしくて、大へんでした。でも、がんばってかきました。かき終わったときはやっぱり、すべるところがあまり上手にかけなかったけど、そうぞういじょうにはかけたと思います。つぎのうんどう会もがんばりたいです。

【2年2組 たかはし れい】

れんしゅうのときは、ゆうぐを三つかいちゃったので、今回は一つかきました。さか上がりのれんしゅう台の色を、ていねいにぬりました。後ろの木もよく見てかきました。てつぼうをえらんだりゆうは、さびをかきたかったからです。ほかのにはついていなかったので、てつぼうにきめました。

【2年4組 森なが 朝日】